

【保育学科】

①質問項目

(1) 建学の精神から導かれた「創意・自立・敬愛」の学訓を基に、専門知識と技能及び社会人としての基礎能力を身につけている。

- ・ 実践力に関する質問 (4問)
- ・ 協働力に関する質問 (3問)
- ・ たい力に関する質問 (3問)

②回答者数 (昨年値) と回答率

- ・ 1年生 73/103名 (37/125名) 71%
- ・ 2年生 50/117名 (19/145名) 43%

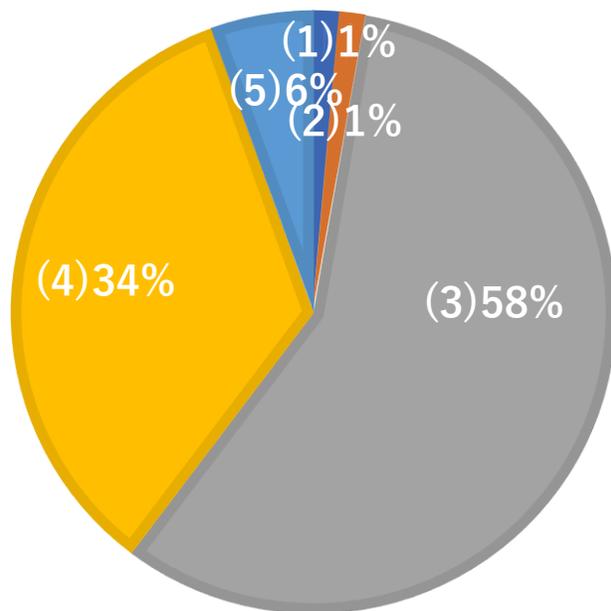
(1) 建学の精神から導かれた「創意・自立・敬愛」の学訓を基に、専門知識と技能及び社会人としての基礎能力を身につけている。

保育学科 1年生 (回答数：73名/103名)

保育学科 2年生 (回答数：50名/117名)

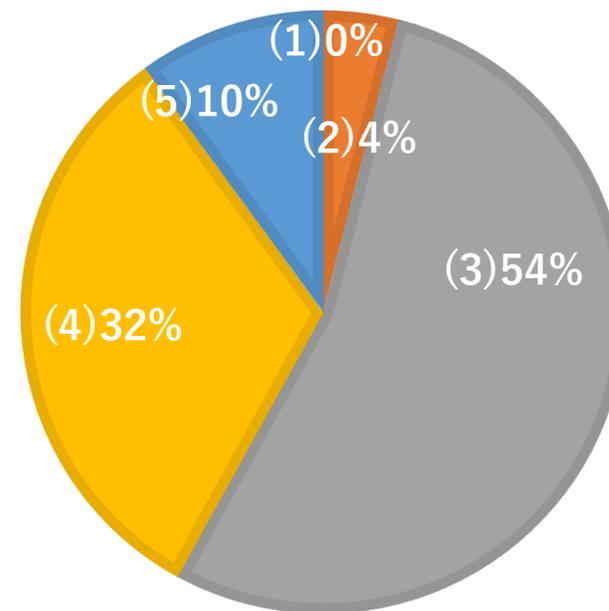
社会人としての基礎能力

■ 1.全く身につけていない ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5.高いレベルで身につけている



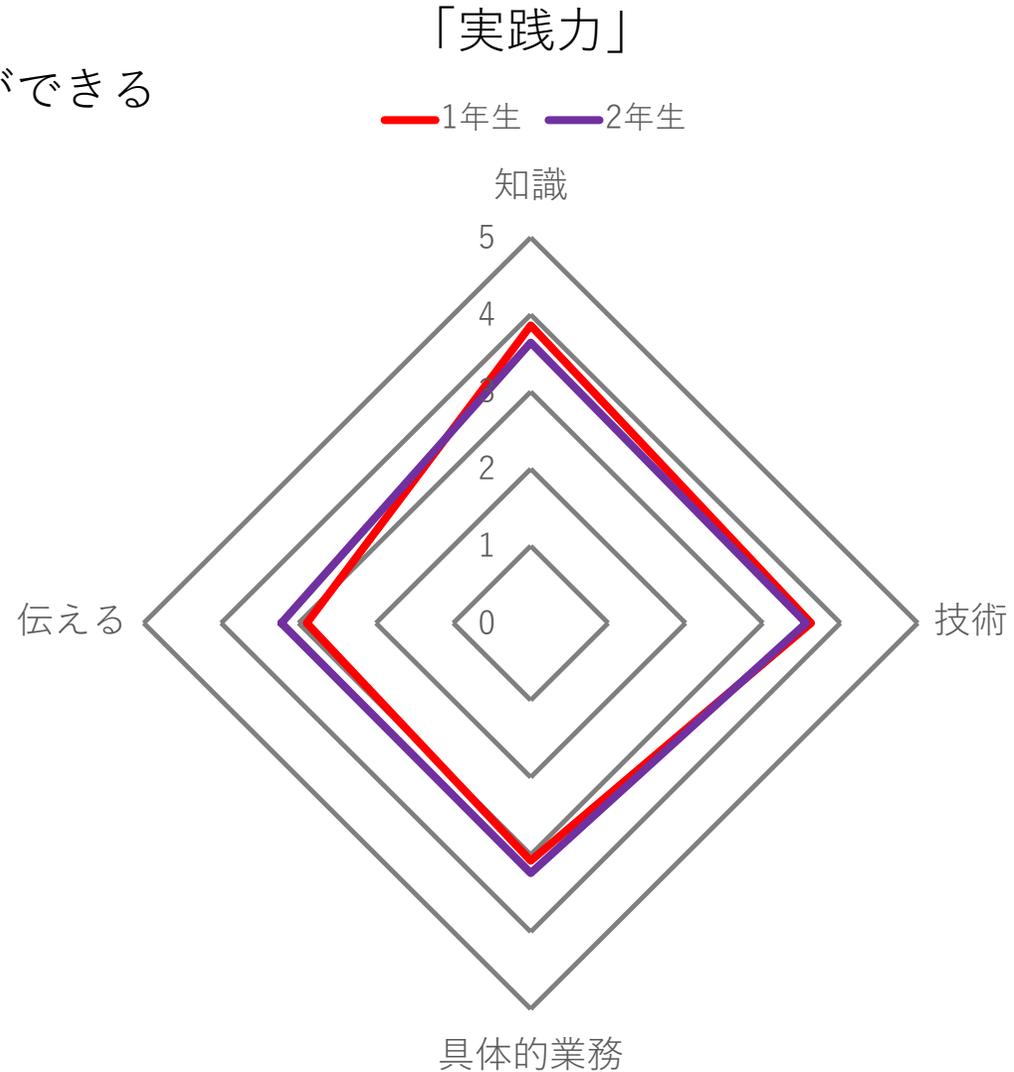
社会人としての基礎能力

■ 1.全く身につけていない ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5.高いレベルで身につけている



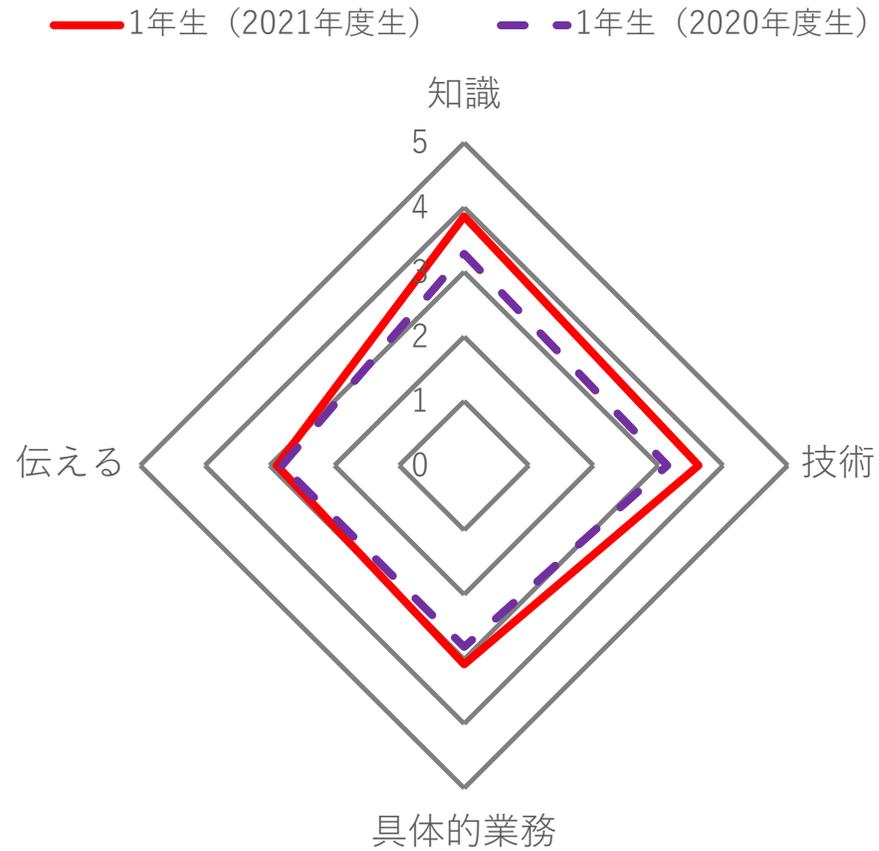
保育学科 1年生（回答数：73名/103名）2年生（回答数：50名/117名）

- (2) 保育者として実践するうえで必要な知識を習得している。
- (3) 保育者として実践するうえで必要な技術を習得している。
- (4) 保育現場の様々な具体的業務を担当できる
- (5) 子どもや保護者に分かりやすく伝えることができる

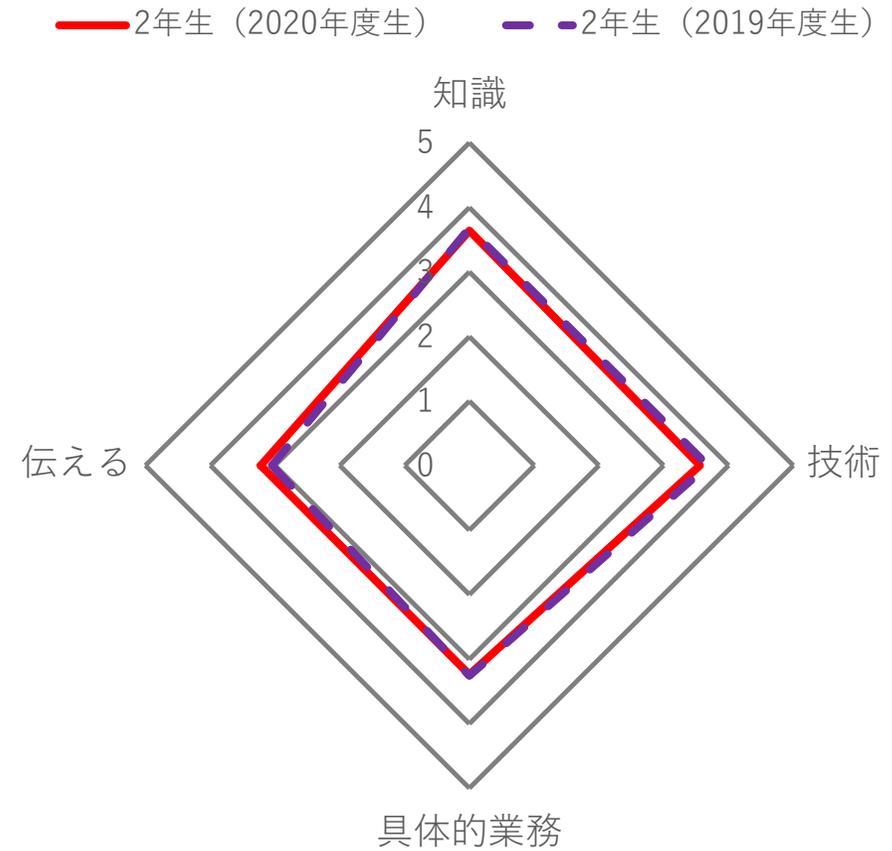


年度ごとの1年生、2年生の比較

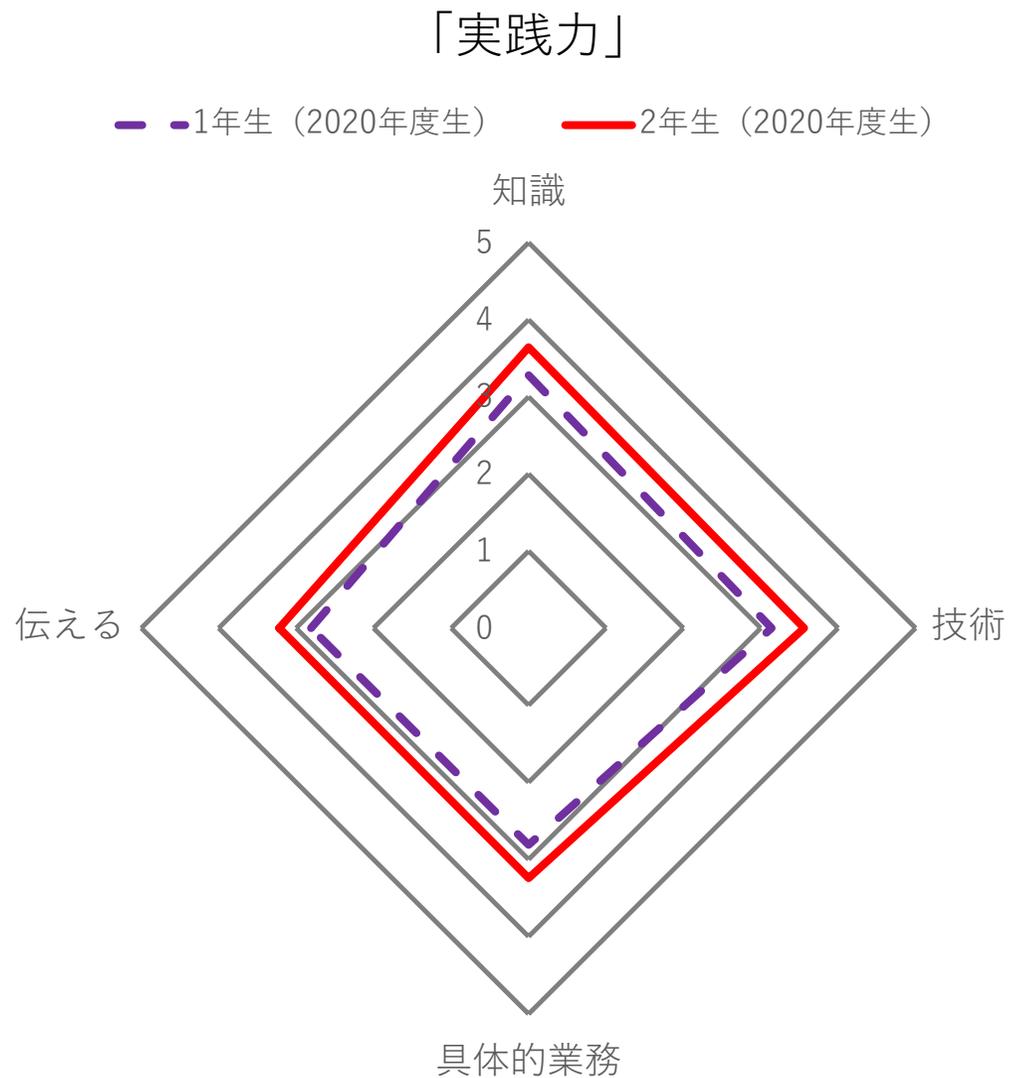
「実践力」



「実践力」



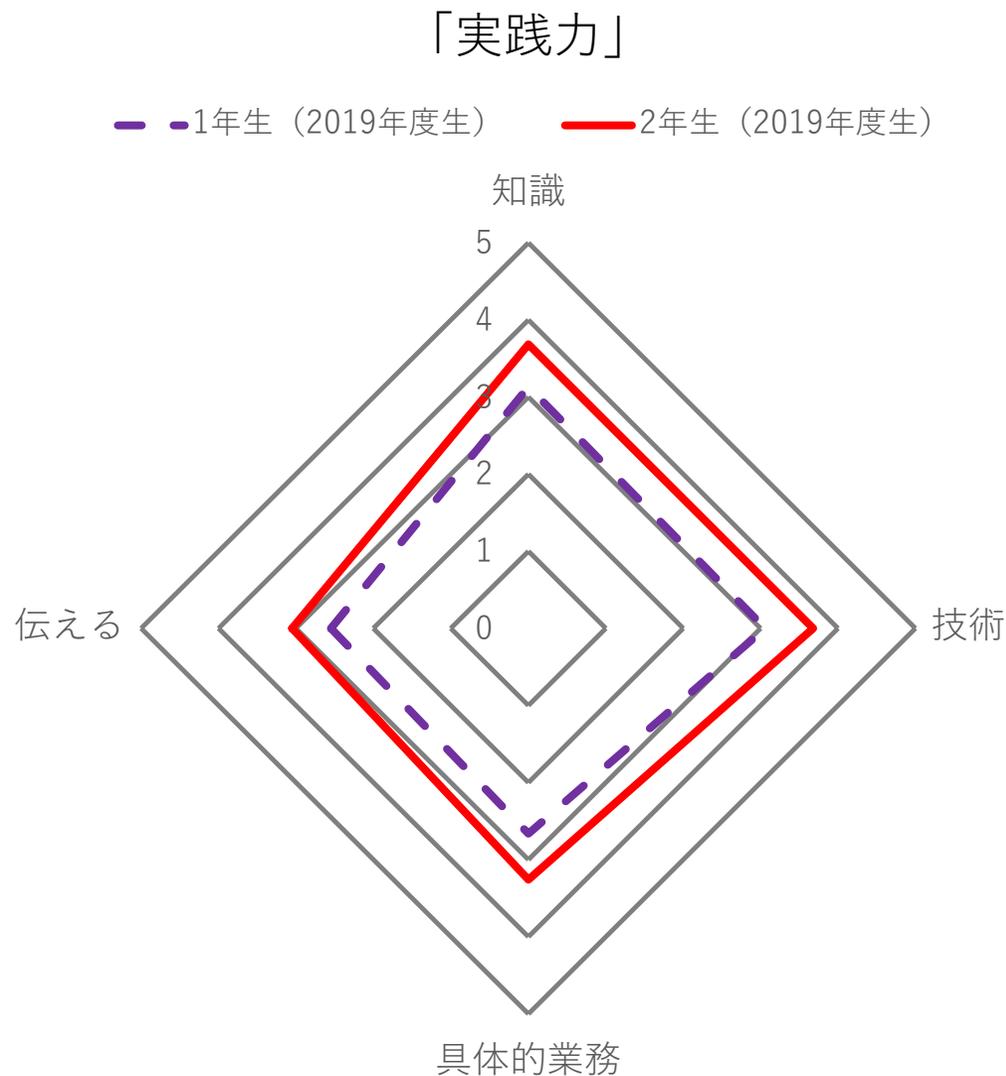
2020年度生の学習成果の伸び



伸び率

- ・ 知識 11%増
- ・ 技術 13%増
- ・ 業務 15%増
- ・ 伝える 15%増

2019年度生の学習成果の伸び

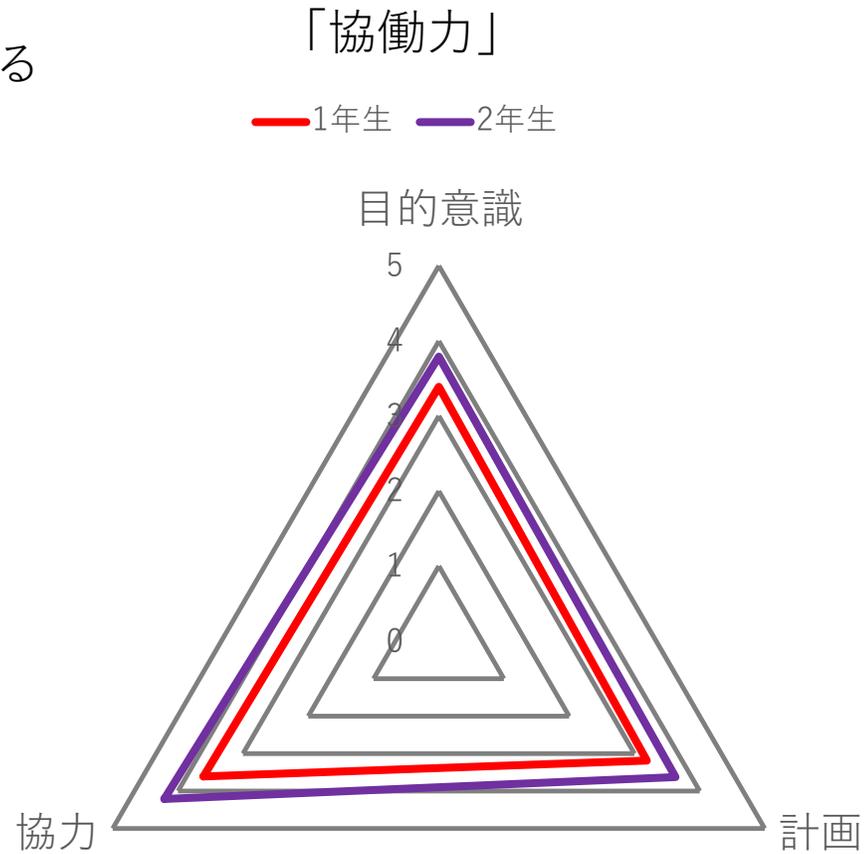


伸び率

- ・ 知識 18%増
- ・ 技術 20%増
- ・ 業務 23%増
- ・ 伝える 20%増

保育学科 1年生（回答数：73名/103名）2年生（回答数：50名/117名）

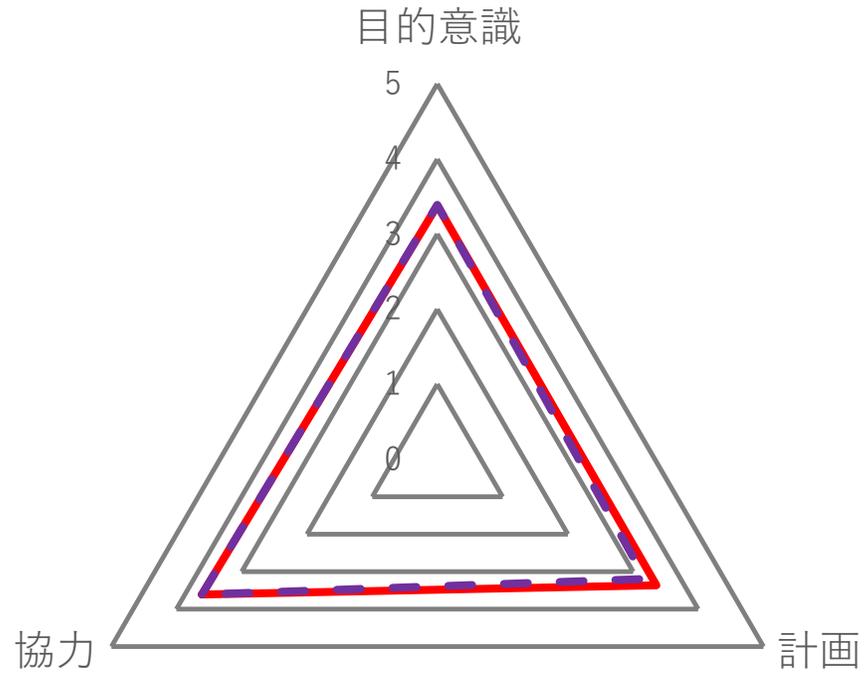
- （6）目的意識を持って保育の仕事をすることができる
- （7）計画をもって保育にあたることができる
- （8）他の保育者と協力して保育をすることができる



年度ごとの1年生、2年生の比較

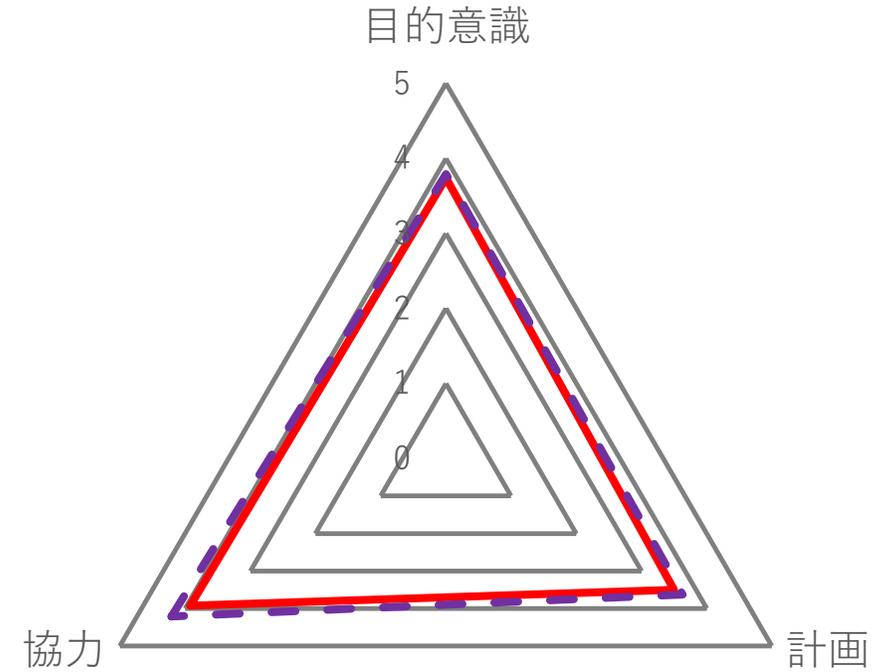
「協働力」

— 1年生 (2021年度生) - - 1年生 (2020年度生) 2



「協働力」

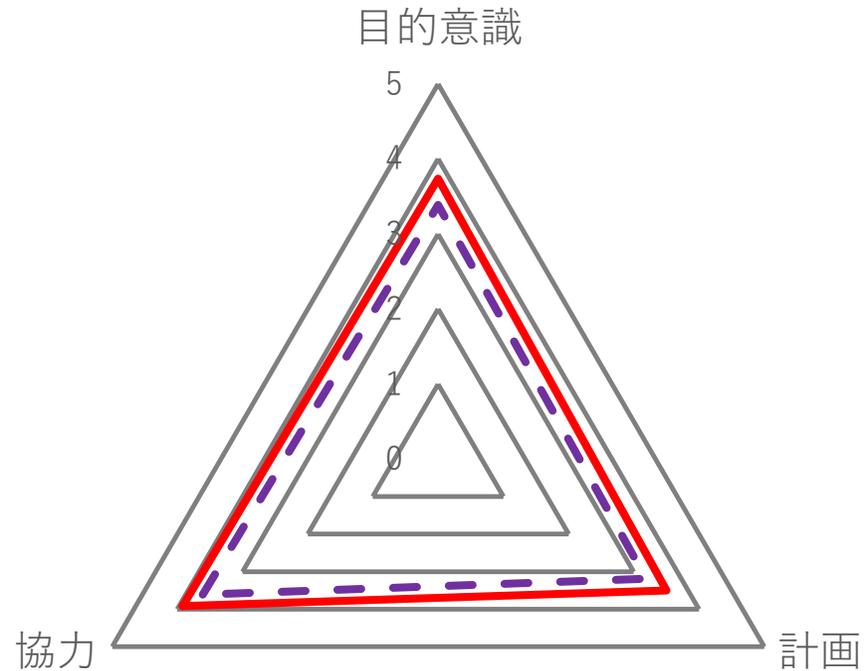
— 2年生 (2020年度生) - - 2年生 (2019年度生) 2



2020年度生の学習成果の伸び

「協働力」

— 1年生 (2020年度生) — 2年生 (2020年度生)

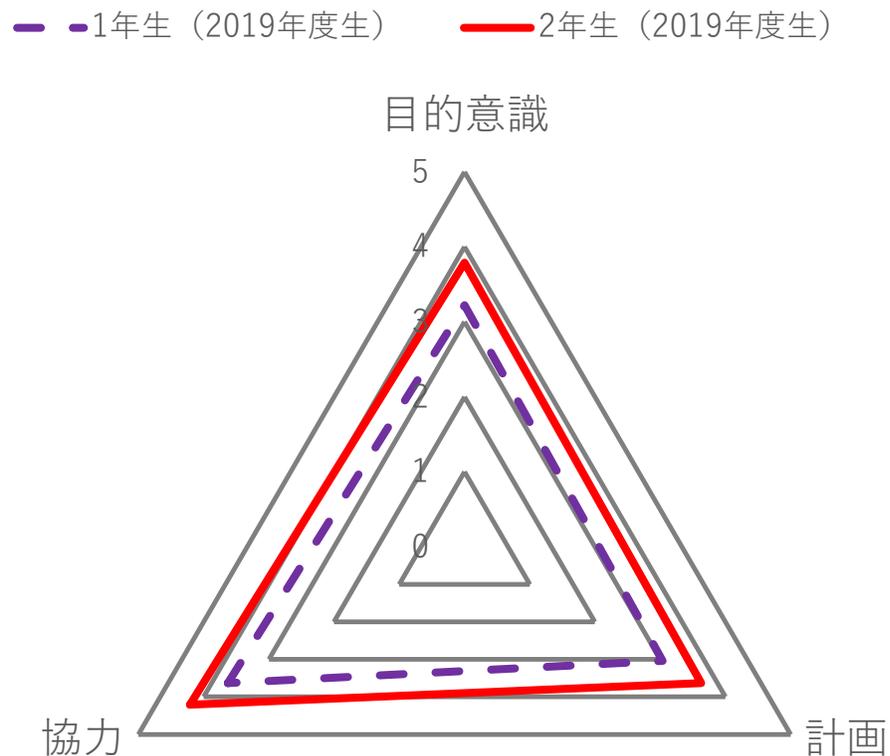


伸び率

- ・ 目的意識 10%増
- ・ 計画 10%増
- ・ 協力 9%増

2019年度生の学習成果の伸び

「協働力」



伸び率

- ・ 目的意識 18%増
- ・ 計画 19%増
- ・ 協力 16%増

保育学科 1年生（回答数：73名/103名）2年生（回答数：50名/117名）

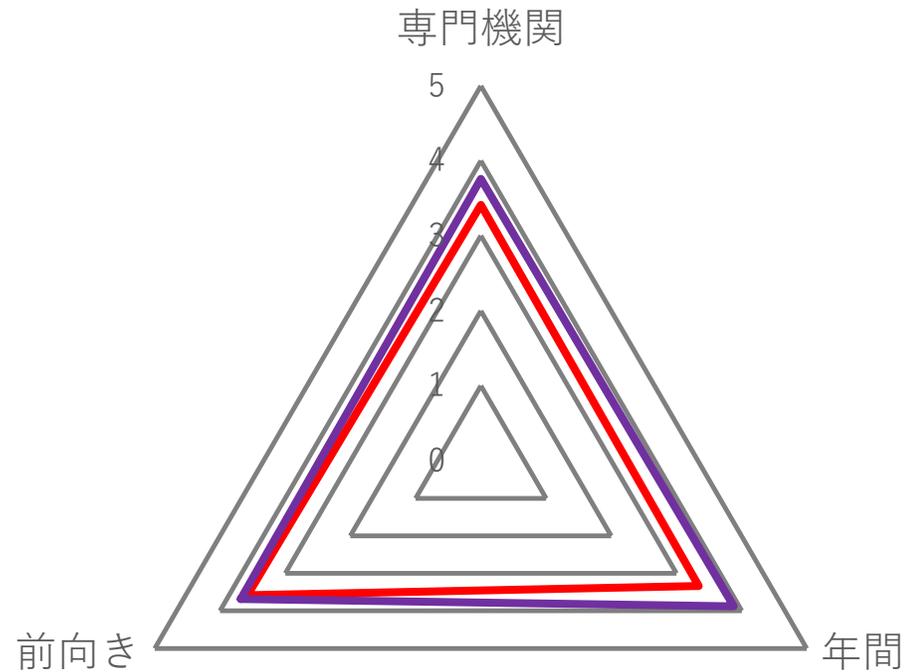
(9) 幼稚園・保育所・児童福祉施設といった専門機関で職員として働くことができる

(10) 一年を通して働くことができる

(11) いかなる困難にも前向きに仕事をするすることができる

「たい力」

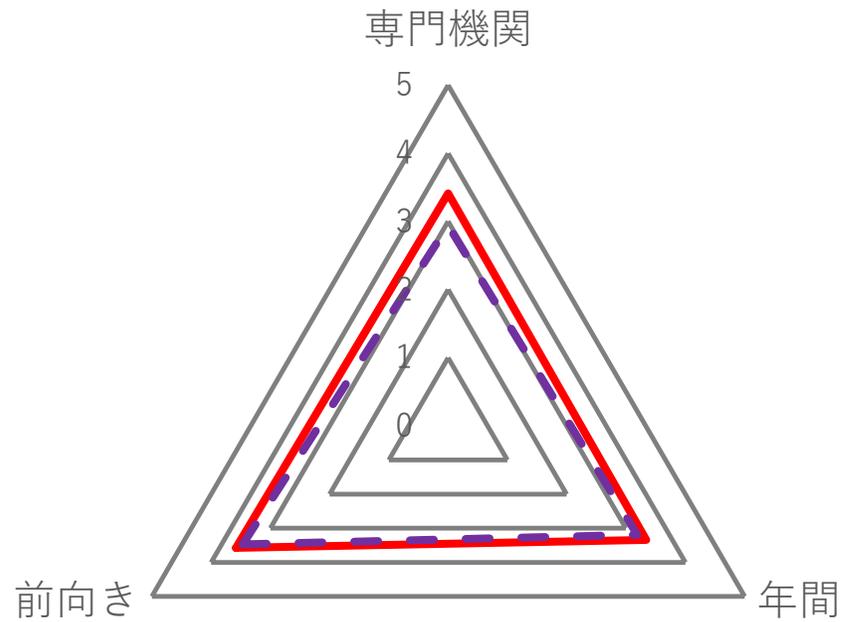
— 1年生 — 2年生



年度ごとの1年生、2年生の比較

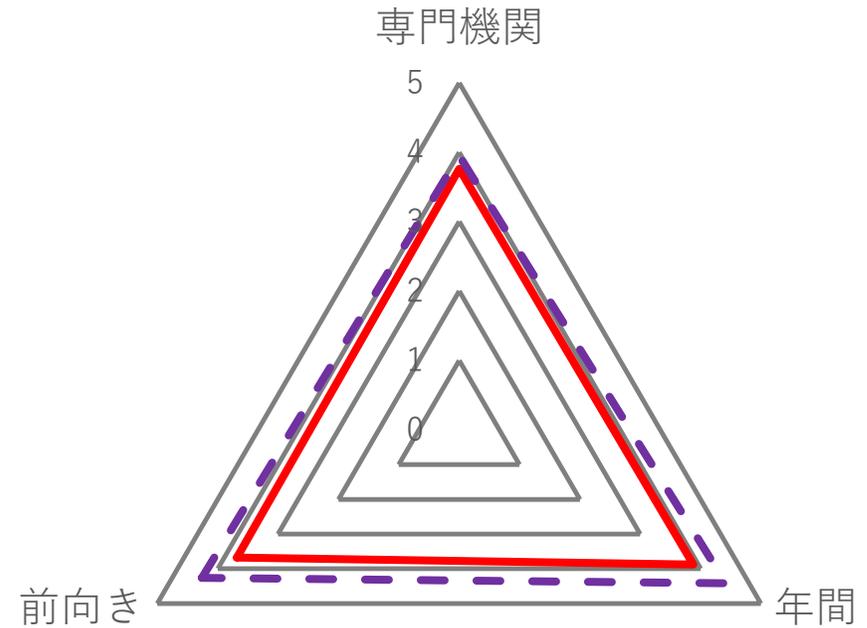
「たい力」

— 1年生 (2021年度生) - - 1年生 (2020年度生) 2



「たい力」

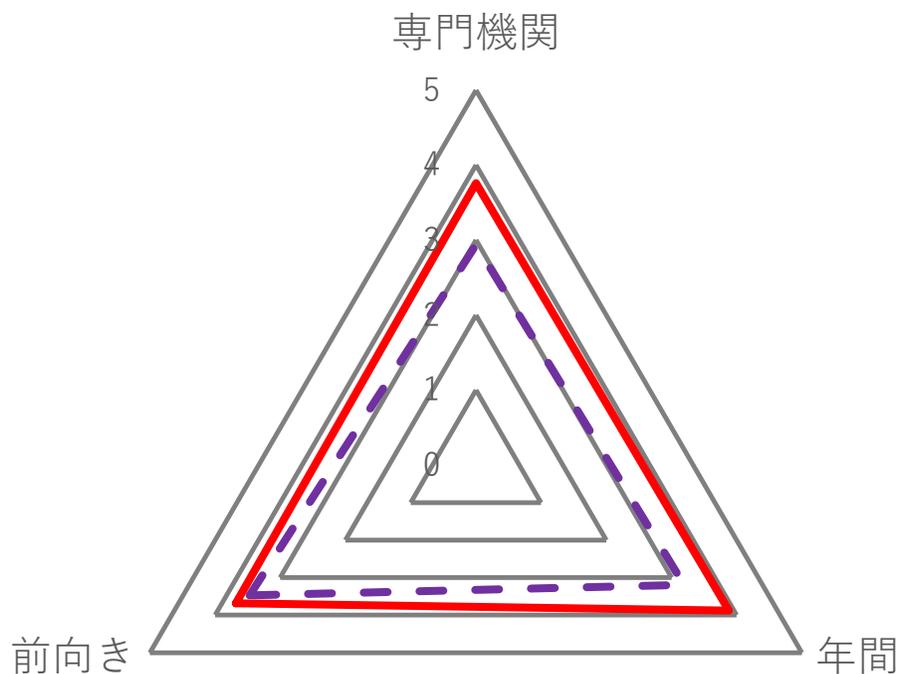
— 2年生 (2020年度生) - - 2年生 (2019年度生)



2020年度生の学習成果の伸び

「たい力」

— 1年生 (2020年度生) — 2年生 (2020年度生)



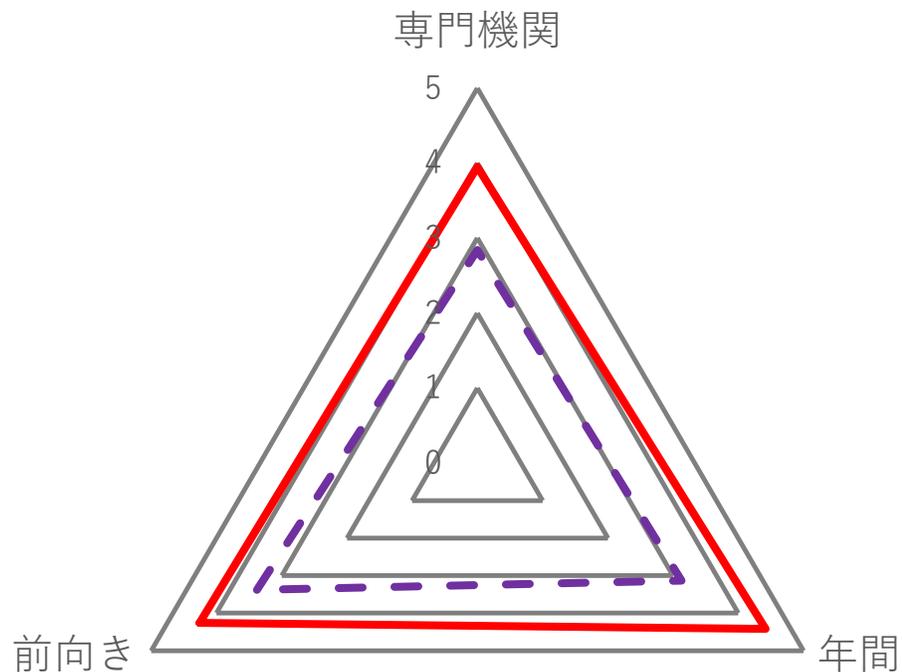
伸び率

- ・ 専門機関 28%増
- ・ 年間 22%増
- ・ 前向き 6%増

2019年度生の学習成果の伸び

「たい力」

— 1年生 (2019年度生) — 2年生 (2019年度生)



伸び率

- ・ 専門機関 39%増
- ・ 年間 41%増
- ・ 前向き 26%増

学習成果アンケートから見る教育活動等見直しの提言（保育学科）

- ・ 学習成果が伸びているという意識は他学科に比べて最も高かった。
- ・ 前向きだけが伸び率が高くなく、2019年度生と比べても低かった。2年間新型コロナウイルスに振り回された結果であるかもしれない。